



# 脳卒中 心臓病



## 患者さんとその家族を支える

栃木県は、循環器病の年齢調整死亡率※1が高く、脳卒中は全国で男性ワースト4位、女性ワースト2位、心疾患は全国で男女ともにワースト5位(2015年調べ)という現状である。

厚生労働省では、都道府県における循環器病対策を推進するため、脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業を2022年度から開始。誰もが利用できる脳卒中の相談窓口を既に開設していた獨協医科大学病院が、初年度にモデル事業を実施する医療機関として選定を受けた。

※1 年齢調整死亡率  
年齢構成の異なる地域間で死亡状況の比較ができるように年齢構成を調整した死亡率。

取材協力: 栃木県保健福祉部健康増進課

### 栃木県の取り組み

#### 栃木県循環器病対策推進計画(2021年3月策定)

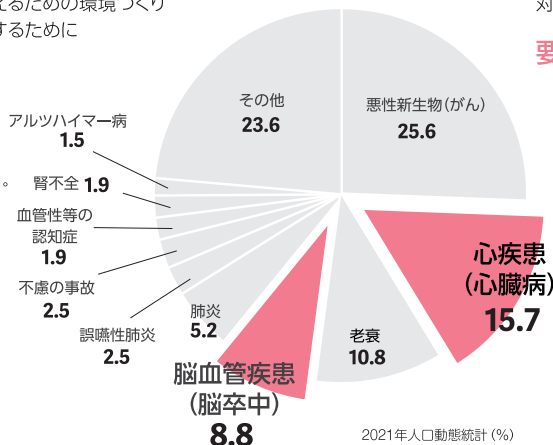
2040年までに3年以上の健康寿命の延伸及び循環器病※2の年齢調整死亡率の減少を目指す。

- ①循環器病予防の取り組みの強化
- ②循環器病の医療、介護及び福祉等に係るサービスの提供体制の充実
- ③循環器病患者等を支えるための環境づくり
- ④循環器病対策を推進するために必要な基盤の整備

※2 循環器病  
心臓と血管の病気のこと。  
心血管疾患  
(狭心症・心筋梗塞など)  
および脳卒中  
(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)。

#### 栃木県民の死亡原因

脳卒中と心臓病が全体の24.5%を占めている。

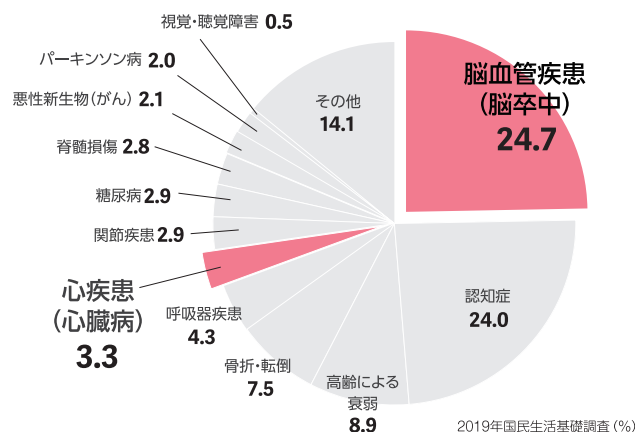


### 国の取り組み

#### 脳卒中・心臓病等総合支援センターモデル事業

脳卒中及び心臓病の急性期治療の提供に加え、急性期から回復期及び維持期(生活期)まで一貫性を持ったリハビリテーション治療の提供などの取り組みを推進。患者や家族の相談支援の窓口を設置し、地域の住民を対象に予防を含めた情報提供・普及啓発の実施、地域の医療機関を対象とした勉強会の開催などを通じて、県内における循環器病対策の包括的な支援体制を構築し、地域全体の患者支援体制の充実に図る。

#### 要介護状態(要介護5)の原因疾患(全国)



### 脳卒中・心臓病のサイン

#### 脳卒中

**FAST** (ファスト) を覚えよう!

**F** [Face] 顔の半分が動かなくなったり、口元が下がってくる。

**A** [Arm] 片方の手足が動かない、力が入らない。

**S** [Speech] 話そうとしても呂律(ろれつ)が回らない、言葉がでない。

**T** [Time] 症状に気づいたら、すぐに受診する。

家族や自分自身に突然このような症状が現れたり、いつもと様子が違うと感じたりしたら、一刻も早く救急車を呼ぶことが大切。

#### 心筋梗塞

胸の痛みや圧迫感

胸の絞扼感  
(胸がしめつけられる感じ)

胸やけ

腕・肩・歯・あごの痛み

・数分～10分程度で症状がなくなる。

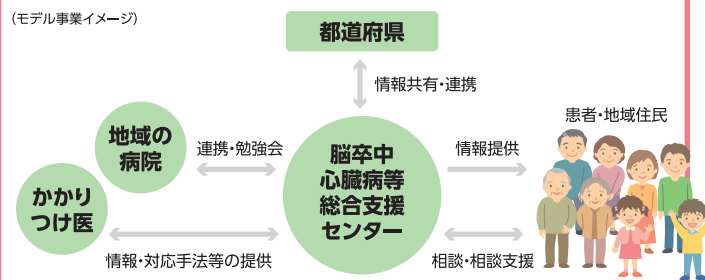
・上記症状を繰り返すことが多い。

・階段や歩行等により上記症状が起こる。

早い段階での気づきが重要! 気になる症状があれば循環器内科を受診しよう。

「要介護5」の認定を受ける方の約28%は脳卒中または心臓病が原因。患者さんとその家族は予備知識がなく、後遺症や支援制度などに関する正しい情報を得る方法が分からず、悩みを抱えることが多い。

### 悩みを抱える患者さんとその家族を支援



**獨協医科大学病院**  
Dokkyo Medical University Hospital

受付時間: 8:00~13:00  
診療時間: 9:00~16:30  
休診日: 日曜・祝日・第3土曜日  
年末年始 (12/29~1/3)  
開学記念日 (4/23)

〒321-0293  
栃木県下都賀郡壬生町大字北小林880  
TEL.0282-96-1111 (代表)  
https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/

**JSA TOCHIGI**

社団法人日本脳卒中協会  
栃木県支部